



9月

10日 三重県立石薬師高校 キャンパス内見学

訪れた高校生たちは風力発電用の風車を見学し、大きさに感心している様子でした。



附属図書館玄関前にて

10日 「第1回三重大・岡三シンポジウム」

—三重県の未来を拓く—

三重の地域文化の活性化を図ることを目的に包括協定事業の一環として開催されました。建築家の安藤忠雄氏による講演等が行われ、950名を超す参加者が熱心に聴き入りました。

10日 NHKBS2「ドウ!エアロビック」収録

本学講堂で収録があり、100名以上の学生・教職員が参加しました。



14日～25日 近代建築家「アントニン・レーモンド」展

- ◎展示「札幌聖ミカエル教会」とアントニン・レーモンド展(9/14～25)
- ◎講演会「レーモンドと日本」(9/18)
- ◎特別公開「三重大レーモンドホール」(9/14～25)

9月18日の講演会(講師:京都工芸繊維大学 松隈 洋教授)には、160名の参加がありました。また、レーモンドが1951年に設計した国登録有形文化財「レーモンドホール」(旧県立図書館より移築)の特別公開に680名、展示会に約1,000名の来訪があり、大変好評を博しました。



29日 附属小学校で「命の授業」

(財)ライフプランニングセンターの日野原重明理事長より、4年生の全児童113名に授業が行われました。心に響く話をされ、子どもたちは99才の先生の存在そのものに「命」を感じ、熱心に聴き入っていました。



10月

2日～7日 大学ファーム・楽農講座 開講

～三重大・津中日文化センター共同企画～
受講生は三重大農場において3月までの講座開催期間にジャム作りやそば打ちなど実技を通して農業への理解を深めます。



5日 三重大農場で農業体験

地域の小中学校と連携する生物資源学研究科の教育ファーム事業の一環として、市立芸濃中学校の2年生66名が稲刈りや脱穀体験をしました。またこの日は大里小学校3年生の枝豆の収穫もありました。



9日 世界遺産研修会

「熊野古道とユネスコスクール普及講座」

県内教育関係者や学生の参加があり、「熊野古道語り部友の会」の皆さんと意見交換会などを行いました。今後も、ユネスコの理念に沿った取り組みを継続的に実施しユネスコスクールネットワーク作りを推進していきます。

14日 自転車の盗難防止キャンペーン

学生防犯ボランティア「三重大安全安心パトロール隊」が学生にワイヤー錠とチラシを配付しながら防犯登録・ツーロックを呼びかけました。用意されたワイヤー錠はまたたく間に無くなりました。



生物資源学部前駐輪場にて

14日～18日 COP10パートナーシップ事業開催

- ◎伊勢湾洋上環境学習(勢水丸)・亀山里山学習・関宿見学・シャープ(株)見学(10/14～15)
- ◎アジア・太平洋大学環境コンソーシアム 国際環境教育シンポジウム、三重大(10/16)
- ◎国際環境フォーラム、COP10会場(名古屋学院大学)(10/18)

「COP10 in 三重」が三重大主催で開催され、アジア・太平洋の7か国から子ども、大学生、教職員の約200名が参加し、生物多様性の保全や国際環境協力の大切さを体験しました。



15日～19日 地域中学校とのコラボ音楽祭

中学生が日頃の練習の成果を発揮できるように、音楽科の学生が中学校に通い、練習の支援をしました。



一身田中学校と連携した音楽祭「絆」



橋北中学校と連携した音楽祭「獅子奮迅」

16日 タンパク質「ナノス」を解析

生物資源学研究科の田丸浩准教授らの研究チームが、生殖細胞の形成に重要な働きをするタンパク質「ナノス」の構造解析に成功しました。JAXAによって、2011年6月に宇宙に打ち上げられる予定です。

18日 共通教育講演会 「明日を生きる力のために」

アルコール依存症から苦勞の末断酒に成功し再活躍されている模様が語られ、多くの参加者約300名が熱心に聴講しました。



講師:ライブアPJニュース 長戸稔氏

19日 松阪市中部中学校 キャンパス内見学

訪れた中学生たちは登録有形文化財の三翠会館や講堂を見学しました。キャンパスの広さに驚いた様子でした。



21日 女性研究者支援事業シンポジウム

神戸大学大学院の朴木佳緒留教授による講演やパネルディスカッションがあり、この3年間の活動成果と今後の課題について活発な意見交換が行われました。最後に、内田淳正学長が共同宣言「理系女性が三重を元気に」を代表で発表しました。

22日 第30回全国きき酒選手権大会 個人の部 第5位



高田奈実さん(生物資源学部 4年)

11月

6日～7日 三重大学祭「みえがお」

100を超える模擬店が並び、ゲストの“HEY-SMITH”と“SHANK”によるライブ等さまざまなイベントが催され、訪れた人々にぎわいました。



イベントが催され、訪れた人々にぎわいました。

7日 美し国おこし・三重大さもり塾公開シンポジウム 「災害に備えたまちづくり・人づくり」

三重県教育文化会館で開催され、復興まちづくりの専門家を招いた講演やパネルディスカッションが行われました。

13日 第3回「四日市久留倍遺跡まつり」

奈良から特別参加したせんと君と共に300人の市民が秋晴れの伊勢路のウォークを楽しみました。



古代衣装をまとった人々

13日～14日 「三重大学・食と農業を科学するリサーチセンター」が津市と四日市の魅力紹介イベントへ出展

地域と連携開発した「おからの出ない豆乳・豆腐」、「黒にんにく」、「ブルゴーニュ種エスカルゴ」等と大学ブランド「三重大学カレー」、「日本酒三重大学」は大人気。



代々木公園(東京都)で開催された「MAHOROBA」

14日 「どんとこい大台まつり」で鹿肉料理

大台町と三重大生が、獣害対策で駆除されたニホンジカの肉を使った商品「ダイコンおろシカ」



「鹿肉まん」を開発し、振る舞いました。今後特産品化を目指します。

16日 第10回全国障害者スポーツ大会 「ゆめ半島千葉大会」報告会

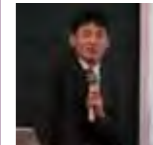
見事銀メダルを獲得した職員の伊藤健太さんと善戦した古謝宏二さんは、内田淳正学長から「三重大大学の誇りだ」と健闘を称えられました。



古謝宏二さん(左端)と伊藤健太さん(右から2人目)

16日 人文学部で外交講座を開催

外務省より尾崎壯太郎氏を講師に迎え、「日本の領土」をテーマに行われました。学生からも活発に質問や意見が出され、60名余りの出席者は講演の内容に強い印象を受けたようでした。



10月30日～11月13日 NHK大河ドラマ 「江～姫たちの戦国～」講演会

11月20日に行われた講演会では、時代考証をされている小和田哲男先生(写真中央)に、母「お市の方」と「茶々」「初」「江」の三人の姫について語っていただきました。



27日～28日 第8回青少年のための科学の祭典 2010 三重大学大会

ロボットを操縦して動かすなど、科学の魅力に触れた小学生らは楽しそうでした。2日間の来場者は約3,800名となり、過去最高の人出となりました。



本学講堂(三翠ホール)にて

* ゆめなりほ 日本酒「弓形穂」ができました

河武醸造(株)と産学連携により開発されたお酒「弓形穂」ができました。

